

海洋教育パイオニアスクールプログラム 完了時自己評価書

学校名 竹富町立大原中学校	
活動名 2024 年度 「 我が島、我が町と海ぬ美しさに誇りを持ち未来にはばたくばいぬ島っ子 」	

評価視点毎の評価 (当てはまる項目のBOXにチェックをつけ、必要に応じてコメントを記入してください。)		達成度
【妥当性】	【成果】	
☒ 今回のテーマと目標の設定は有効でしたか？ 【コメント欄】 目標に沿った学習を実践することができた。西表島の自然について「職業」「生物」「未来・発信」の視点から学習を進めることができた。	☒ 期待した成果は得られましたか？ 【コメント欄】 ・自然に親しみながら、課題を見つけ、その解決に向けて話し合い考えをまとめ発表することができた。ただし、体験活動に時間を割かれることが多いため、生徒が主体的に探求していく時間をどう確保するかが今後の課題である。	
☒ 学習内容の分量は適切でしたか？（無理のない目標・計画でしたか？） 【コメント欄】 年間を通して活動を充実させることができたが、体験活動が多すぎると感じた。職員間の連携を図り、内容を精選していく必要がある。	☒ 学習目標と本活動との関連性は明確でしたか？ 【コメント欄】 各活動で西表の自然について触れ、知識や経験を得て、その保全について考えることができた。	
☒ 内容は対象児童・生徒のレベルに適切でしたか？ 【コメント欄】 生徒の興味関心を持って取り組める活動であった。	☒ 活動は児童・生徒の海洋への関心を高める契機となりましたか？ 【コメント欄】 地域や波照間中学校、階上中学校の協力のもと、様々な活動に取り組みことができ、生徒の海洋への関心を高めることができた。また、やまねこパトロールの高山さんや東海大学の渡辺先生など外部機関と連携し、充実した取組となった。	
【有効性】	【持続性】	その他コメント・感想
☒ 内容は計画通りに実施されましたか？ 【コメント欄】 日程に関しては計画通り取り組めた。そ事前の打ち合わせを密に行うことができた。	☐ 活動に必要なノウハウ・知見・技術等が教員間で共有されていますか？ 【コメント欄】 ノウハウに関しての共有はこれまで以上に強化していきたい。職員間で差がみられるため、連携や共有を密にする必要がある。	
☒ 協力要請した外部機関との連絡体制や指導内容は良好/適切でしたか？ 【コメント欄】 やまねこパトロールの高山さんや東海大学の渡辺先生など外部機関と連携し、充実した取組となった。	☒ 学習内容や成果物が適切に活用される（見込み）がありますか？ 【コメント欄】 活動の振り返りから、環境保全に向けて自分に何ができるのかを考え行動にうつすことができた。	
☒ 助成事業に対する地域や保護者からの理解は得られましたか？ 実施後に家庭や地域への知識や情報の広がりが見られますか？ 【コメント欄】 特に問題なし。次年度は取り組みの表現方法を工夫したい。	☐ 学習した内容を継続・応用する仕組みは考慮されていますか？ 【コメント欄】 時数の問題が大きく、継続性において課題が残る。次年度は教科横断等の方法を工夫していく必要がある。	
【効率性】	【信頼性】	
☒ 学習活動の実施時期は適切でしたか？ 【コメント欄】 天候や季節（潮など）を考慮して活動できた。	☐ 担当教員は学習内容について十分な知識・技術を有していましたか？ 【コメント欄】 専門的な知識や技能が必要な活動が多く、専門機関や地域の協力が不可欠。教員のみでの活動は難しい。地域の人材活用が必須である。	
☐ 物資・資金・派遣講師（人員）の規模や質は適切でしたか？ 【コメント欄】 特に問題なし。	☒ 実施に当たり、十分な体制が整えられましたか？（教員間連携、安全対策、チェック体制） 【コメント欄】 急な変更にも連携を取ることで臨機応変に対応できた。	
☒ 実施期間の設定は適切でしたか？（計画内容を設定期間内に終えることができましたか？） 【コメント欄】 期間内で活動を終えることができた。	☒ 実施内容について外部公表・発信・共有していますか？ 【コメント欄】 竹富町の海洋教育サミットや階上中学校とのオンライン交流等で、活動の発表を行った。次年度は、学校HPの活用やGoogleサイトの活用等、積極的にICTを活用していきたい。	